

ふれあいの心がつまっています。

ぽけっと

2016 SUMMER
第110号

野木町社協情報誌 **NOGI-TOWN POCKET**

この情報誌は、一部赤い羽根共同募金配分金により発行しています。

5月19日(木) 第12回老人ペタンク大会を実施しました



ふくしのつどい2016

日時：11月26日(土) 午後1時15分～午後3時15分

演題：奇跡の復帰 “光のステージ”へ

闘病・ひきこもりを乗り越えた先にあるもの

講師：さくらいりょうこ氏

※詳しい内容は10月28日発行の社協情報誌「ぽけっと秋号」に掲載します

目次

- P2 平成27年度
野木町社会福祉協議会事業報告
- P3 平成27年度
野木町社会福祉協議会決算報告
- P4 ボランティア全体会・
全体研修会の報告
- P5 福祉講座の受講者募集

- ・ P6 災害ボランティア養成講座の受講者募集
- ・ 傾聴ボランティア入門講座の受講者募集
- ・ P7 笑顔満点！健康生活
- ・ ふれあい福祉総合相談のお知らせ
- ・ P8 ボランティアサマースクール
- ・ 小学生チャレンジスクールの受講者募集
- ・ 男の料理教室参加者募集

野木町社会福祉協議会・野木町社会福祉ボランティア連絡協議会

ホームページアドレス <http://www.nogi-shakyo.or.jp>

平成27年度事業報告

マークの事業は一部共同募金の配分金を受けて事業を実施しています。

法人運営

- (1)理事会 4回開催、評議員会 2回開催、監査会 1回開催
- (2)会員増強推進

会員数(寄付含)	6,693社	金額	3,302,724円
賛助会員数	45世帯	金額	240,000円
- (3)善意の寄付

金品	25件	536,771円
物品	7件	

地域福祉活動計画策定事業

- (1)町民意識(アンケート)調査の実施 8回
- (2)地域懇談会の開催 2回
- (3)策定委員会の開催

ふれあい福祉総合相談

- (1)総合相談

心配ごと相談	8件
法律相談	30件
- (2)心配ごと相談員研修会

ボランティア活動

- (1)ボランティアの登録

団体数	15団体
個人ボランティア	76名
- (2)ホームページの開設
- (3)ボランティア保険加入数

ボランティア活動保険	961名
ボランティア行事用保険	3,537名
- (4)学童・生徒のボランティア活動普及事業の推進
 - ①ボランティアサマースクール(7/27~7/31)
 - ②小学生チャレンジスクール(7/28~7/31)
 - ③One dayボランティアスクール(8/7)
 - ④協力校事業連絡会議の開催 年3回
 - ⑤地域福祉新聞の発行 年1回
- (5)ボランティア活動の支援
 - ①傾聴ボランティア養成講座 (10/16、10/23)
 - ②福祉講座の開催
 - ・手話講座 (9/5、9/12、9/19、9/26、10/3)
 - ・朗読講座 (9/11、9/18、9/25、10/2、10/9)

居宅介護サービス事業の推進

- (1)介護保険事業と障害者自立支援事業
 - ①居宅介護支援事業(ケアプラン作成) 971件
 - ②訪問介護事業 2,024回
 - ③予防訪問介護事業 638回
 - ④自費訪問介護事業 2回
 - ⑤障害者福祉居宅介護事業 96回
- (2)高齢者の介護予防と包括的援助・支援
 - ①総合相談支援 3,082件
 - ②介護支援専門員定例ケア会議の開催 4回
 - ③予防給付介護予防支援事業(予防ケアプラン作成) 2,323件
 - ④通所型介護予防事業 36回
 - ⑤男の家庭科教室事業 3回
 - ⑥安全・安心見守りネットワーク事業

地域福祉啓発活動

- (1)福祉講演会 来場者数154名
- (2)社協情報誌「ぼけっと」の発行 年4回

在宅福祉サービス事業

- (1)生活支援事業(訪問介護) 92回
- (2)配食サービス事業 1,928食
 - 配食ボランティア数 44名
- (3)外出支援サービス事業 98回
- (4)福祉機器(車いす)貸出事業 56件

高齢者福祉の推進

- (1)ひとりぐらし高齢者の交流事業 2回
- (2)ふれあいサロン事業・ふれあいサロン支援事業
 - 町内 13会場 延開所数 351回 延参加者数 4,094名
- (3)高齢者と子どもの交流会 2回
- (4)老人ペタンク・老人レクリエーション大会の開催

障がい児・者福祉の推進

- (1)心身障がい児者親子交流事業
- (2)心身障がい児者お楽しみ会
- (3)県障がい者スポーツ大会の参加協力
- (4)視覚障がい者朗読テープの作成と貸出

生活支援・資金貸付事業

- (1)日常生活自立支援(あすてらす) 11名
- (2)生活福祉資金貸付 1件
- (3)社会福祉金庫貸付 41件
- (4)行路援護者援助 22件

災害時における支援活動・災害ボランティアセンター設置に係る整備

- (1)要援護者等(介護利用者含)への対応
- (2)避難者への対応
- (3)災害見舞金・災害義援金の受付事務
- (4)近隣市町への援助活動
 - (9/12、9/13、9/14、9/18、9/23、10/3)

日本赤十字社活動と共同募金活動

- (1)日本赤十字社社員募集(5月)

募金総額	3,249,194円
------	------------
- (2)赤い羽根共同募金運動(10月)

募金総額	2,952,941円
------	------------



老人福祉センター(ホープ館)の管理運営

- (1)老人センター事業
 - ①生きがい講座 14回
 - ちぎり絵講座 14回
 - パッチワーク講座 5回
 - 竹細工講座 32回
 - ②健康体操教室
- (2)老人福祉センター利用者数 34,020名

「きら輪号」の運行

- (1)新規登録者数 144名
- (2)きら輪号利用者数 9,199名

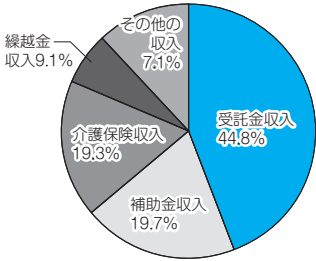


平成27年度 決算報告

収入の主な内訳

○収入 (単位:千円)

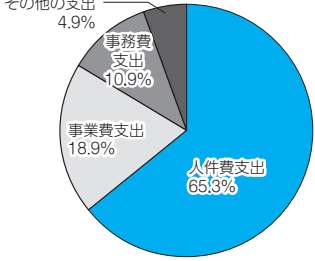
受託金収入	78,516
補助金収入	34,497
介護保険収入	33,780
繰越金収入	16,017
その他の収入	12,483
計	175,293



支出の主な内訳

○支出 (単位:千円)

人件費支出	103,367
事業費支出	29,915
事務費支出	17,316
その他の支出	7,702
計	158,300



資金収支計算書

自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日 (単位:円)

事業活動収入	155,276,612
事業活動支出	152,484,838
事業活動資金収支差額	2,791,774
施設整備等収入	0
施設整備等支出	0
施設整備等資金収支差額	0
その他の活動収入	4,000,000
その他の活動支出	5,815,777
その他の活動資金収支差額	△ 1,815,777
予備費支出	0
当期資金収支差額	975,997
前期末支払資金残高	16,017,369
当期末支払資金残高	16,993,366

事業活動収支計算書

自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日 (単位:円)

サービス活動収益	154,728,133
サービス活動費用	162,914,993
サービス活動増減差額	△ 8,186,860
サービス活動外収益	56,778
サービス活動外費用	0
サービス活動外増減差額	56,778
経常増減差額	△ 8,130,082
特別収益	0
特別費用	0
特別増減差額	0
当期活動増減差額	△ 8,130,082
前期繰越活動増減差額	6,023,801
当期末繰越活動増減差額	△ 2,106,281
基金取崩額	2,000,000
その他の積立金取崩額	2,000,000
その他の積立金積立額	6,044
次期繰越活動増減差額	1,887,675

貸借対照表

平成28年3月31日 現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
流動資産	29,248,929	流動負債	12,255,563
固定資産	154,109,495	固定負債	76,827,890
		負債合計	89,083,453
		純資産の部	
		基本金	1,000,000
		基金	60,844,881
		国庫補助金等特別積立金	758,938
		その他の積立金	29,783,477
		次期繰越活動収支差額	1,887,675
		純資産合計	94,274,971
資産合計	183,358,424	負債・純資産合計	183,358,424

平成28年度 社協会員加入のお願い

社会福祉協議会の財源は、主に行政からの補助金、共同募金、寄付金等になっていますが、これまで以上に充実した地域福祉活動を推進する上で、地域の皆様にご協力をいただく社協会費は重要な財源となっています。今年も、7月1日から会員募集をいたしますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

平成28年度目標額 3,520,000円(賛助会費含む)

会費は 地域福祉活動事業 住民福祉啓発事業 法人運営事業 に使われます。

平成28年度 ボランティア全体会 / 全体研修会

4月16日、町老人福祉センター(ホープ館)に83名の町のボランティア仲間が集い、町社会福祉ボランティア連絡協議会の全体会・全体研修会が行われました。

全体会では、薩摩アツ子会長より平成27年度の1年間の活動が報告され、平成28年度の事業計画と引き続き会長に就任された薩摩アツ子会長をはじめ新役員が紹介され承認されました。

～ ボランティア取材レポート 走辺寿美子 ～



「初めに、今から心理テストを始めま～す。認知症になったら、あなたはどんな種類の認知症になるでしょうか？朝、目覚めたら知らない場所でした。さて、みなさんはどのような行動をしますか～」。ホープ館1Fの会場に講師の若い女性の明るい声が響き渡った。「1、「お～い」と声を出してみる。2、部屋でじーとしている。3、ここがどこなのか確かめて見て回る。さあ、みなさんは何番ですか？」。すると、会場がざわめきだした。「私はじっとしているわね」「いや、俺はあちこち見て回るな」。「3番の方は、徘徊になるかもしれませんね」と講師の言葉に、会場中に笑いの渦が沸き起こった。

これは、町役場健康福祉課の川井さんの「認知症サポーター養成講座」。「認知症を学び地域で支えよう」という、ちょっとお硬いテーマだが、最初から笑いが起き、会場はリラックスした雰囲気だ。そして、単に受け身の受講ではなく、会場の全員がA～Kの11グループに分かれ、いろいろ話し合いながら進めていくというグループワーク手法をとっている。そのためか、みんな学ぶことに積極的だ。「認知症になった人の行動や症状を各グループで話し合っってポストイットに書いて貼ってください」と川井さん。「よく姑が何度も同じことを繰り返して言っていたわ」「おとなしい性格だった父が、急に怒りっぽくなってね」「そういえば、お風呂も着替えも嫌がるようになって…」各テーブルでは、いろいろな話で盛り上がっている。それらの症状を、記憶障害など認知症の直接の原因である脳の細胞が壊れることで起こる中核症状とうつ状態や暴力行為などの周辺症状に分けてポストイットに記入し、テーブルの上の紙に貼り付けていく。こうした手法をとることによって、難しい講義の内容がわかりやすくなり、整理できるから不思議だ。こうして、「認知症とは？」や「認知症の種類」などが自然に頭に入ってしまった。

さて、次はぼんぼこ劇団の登場！「ご飯まだかぁ～。お腹がすいたよ。朝から何も食べていないよお」と、チュー吉爺さん。「お爺さん、さっき食べたでしょう」とハナ子婆さん。傍らには息子のキヨシさんとお嫁さんのあけみさんがいる。みなさん顔馴染みの面々だ。これは、社会福祉協議会の職員さんたちによる寸劇を通して、認知症の人への対応を学ぶコーナーだ。みんな、職員さんたちの名演技に拍手喝さい！会場中が大盛り上がりだ。「食事を催促されたら？」「財布を盗まれたと言われたら？」「もし近所でゴミ出しのルールが守れない人がいたら？」の3つの事例を悪い対応と良い対応に分けて、寸劇を通してわかりやすく教えてくれた。終始笑いが起こりながらも、「さっき食べたでしょ。もう忘れたの」「私は絶対盗んでいませんよ。あなたの勘違いです」などいろいろなNGワードに、「なるほど。言いそうだね」と、あちこちで納得している様子を見かけた。認知症の方への対応は、「驚かせない」「急がせない」「自尊心を傷つけない」の3つの「ない」が重要という。

川井さんによると、認知症は誰にでも起こりうる脳の病気で、85歳以上では4人に1人にその症状があるという。野木町の65歳以上の高齢者数は6,495人、その中で認知症高齢者の要介護認定者数は1,028人。認知症の方が、できる限り住み慣れた地域で自分らしく



暮らし続けることができる社会の実現を目指すためには、「地域での見守りが大切」と力をこめた。認知症や認知症を抱えている家族の人たちに関することは身近な問題。一人一人が認知症サポーターとして、認知症について正しく理解し、偏見を持たずに認知症の人や孤立しがちな家族を温かく見守り支え支援してほしいもの。最後に、「特に、ゴミ出しのルールを守れなくなってきた一人暮らしの高齢者の方が近くにおられたら、町健康福祉課へ一報願いたい」と、川井さんは訴えた。

配られた認知症サポーターの印であるオレンジリングを見ながら、認知症の方やそのご家族の方たちへさりげない援助ができたらと思った。もし、夜道を一人で早足で歩く方を見つけて気になったら…、一人でスーパーをウロウロしたりしている人を見かけたら…、ゴミ出しのルールまちがいが多くなった人を見かけたら…、勇気を出して、ゆっくりとおだやかな口調で話しかけてみようかな。そんな優しい気持ちになれた講座だった。

講義の後は、三輪傑とサンフラワーズによるハワイアンショーが開かれた。ウクレレやスチールギターなどが奏でる「アロハオエ」や「カイマナヒラ」などに、会場中がうっとり。ハワイアンダンスも加わり、癒しのひと時を過ごした。



福祉講座の受講者募集

視覚に障がいがあって、新聞や本を読んだりできない人には、それを読んでくれる人や点字に変えて伝えてくれる人が必要です。聴覚に障がいがあって、人のお話を聞いたり、会話したりすることが困難な人には、手話や指文字で伝えてくれる人が必要です。誰でも最初からたくさんのはじめられません。少しずつ簡単なことから始めてみませんか。

手話講座(初心者向け)		朗読講座(初心者向け)		点字講座(初心者向け)	
日 時	内 容	日 時	内 容	日 時	内 容
10/1(土)	聞こえていますか?あなたの耳 日常の動き等を伝え合ってみよう	10/12(水)	朗読のための呼吸法 発声・発音	10/4(火)	視覚障がい者への接し方
10/8(土)	自己紹介をしよう 名前の表現、手話と指文字	10/19(水)	声に出して読んでみよう	10/11(火)	点字の読み方 街中で見る点字
10/15(土)	家族を紹介をしよう 誕生日、数字の表し方	10/26(水)	紙芝居・絵本の読み方	10/18(火)	点字の読み方 (清音、濁音、拗音)
10/22(土)	趣味は? 表情と手の動きで気持ちを表現	11/9(水)	表現力をつけよう	10/25(火)	語の書き方 (数字とアルファベット)
10/29(土)	まとめ(伝えあうたのしさ) 手話サークルの人たちと体験交流	11/16(水)	伝わる読み方 (情報を読もう)	11/1(火)	分かち書き (点字で自己紹介を書く)

●場 所／ホープ館(老人福祉センター)

●募集人数／各講座10名程度(受講者が半数に満たない場合は中止又は回数が減になることがあります)

●開講時間／午前10時～12時

●受 講 料／無料

●対 象 者／野木町在住・在勤者

●申込受付／7月12日(火)～

受講を希望される方は、野木町社会福祉協議会 ☎57-3100 までお申込みください。

災害ボランティア養成講座受講者募集!!

今年、熊本県で震度7の激しい揺れを観測する地震があり、被災地では、現在も復興へむけて、地域が一丸となり取り組んでおられます。

平常時からの防災に対する備えが、災害発生時に状況に応じた対応へとつながっていきます。

本講座では、災害時にどのような行動や備えがあればいいのかを学び、災害に対する意識向上を目指すことを目的に開催します。

●日 時／平成28年9月16日(金) 午前10時～12時

●場 所／ホープ館(老人福祉センター)

●講 師／NPO法人 とちぎボランティアネットワーク 事務局長 矢野 正広 氏

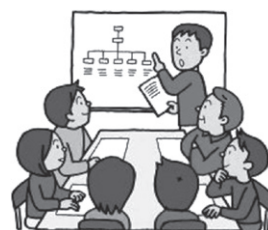
●内 容／家庭の防災 非常時持ち出しグッズ

災害時におけるボランティアの役割

●定 員／20名(定員になり次第締め切らせていただきます)

●対 象 者／野木町在住・在勤者 ●受 講 料／無料

●申込受付／7月12日(火)～



受講を希望される方は、野木町社会福祉協議会 ☎57-3100 までお申込みください。

傾聴ボランティア養成講座受講者募集

「傾聴」というと、あまり聞き慣れない言葉ですが、なんとなく、「人の話を聞く」ということだろうと感じる人が多いと思います。初めて会う人、ご近所の人、友人や家族、大切な人…。私たちの生活の中で、出会うたくさんの人たちの声を、ただ音としてではなく、耳を傾けて聴くという姿勢を一緒に考えてみませんか？

【日時・内容(予定)】

10月4日(火) (午後1時30分～午後3時)	上手な話の聞き方とは ～傾聴のコツ ①～
10月11日(火) (午後1時30分～午後3時)	上手な話の聞き方とは ～傾聴のコツ ②～
10月18日(火) (午後1時30分～午後3時)	上手な話の聞き方とは ～傾聴のコツ ③～

●場 所／ホープ館(老人福祉センター)

●対 象 者／町内在住・在勤者

●定 員／20名(定員になり次第締め切らせていただきます)

●講 師／NPO法人 風の詩 副理事長 永島 徹 氏

●申込受付／7月12日(火)～



受講を希望される方は野木町社会福祉協議会 ☎57-3100 までお申込みください。

介護でお悩みのことは ありませんか？ 介護の安心をサポートします。

●居宅介護支援事業所

介護サービスをご利用いただくための相談
やケアプラン作成のお手伝いをいたします。

●訪問介護事業所

(ホームヘルプサービス)

ホームヘルパーが訪問し身体介護や生活
援助を提供、また介護に関するご相談にも応
じます。

ご利用ご相談をお受けしております。
お気軽にお問合せください。



野木町社会福祉協議会
☎0280-57-2455

笑顔満点！健康生活

熱中症を 予防しよう！

気温の高い日が続くこれからの
時期に備え、以下のことを心掛け、
熱中症対策をしましょう

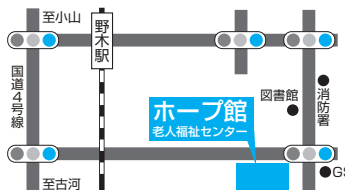
- ☐ 室内でも熱中症になります。
上手にエアコンを使いましょう
- ☐ 急に暑くなる日や夏の猛暑日は注意が必要です。
日中の外出を控え、暑さを避けましょう
- ☐ のどが乾く前に水分をこまめに補給しましょう
- ☐ 体調がおかしいと思ったら病院へ行きましょう



『ふれあい福祉総合相談』の お知らせ

野木町社会福祉協議会では、日頃から抱えている
いろいろな悩みや問題について、相談に応じられるよう
に「ふれあい福祉総合相談」を開設しています。

相談種別	相談日・時間	相談内容
心配ごと 相談	毎月 第1・第3水曜日 午前10時～正午	家庭の悩み 心配ごとのある方
法律(弁護士) 相談	7/21・9/15 奇数月の第3木曜日 午前10時～正午	法律に関わる相談のある方 予約が必要です、 下記までご連絡ください。
ボランティア 相談	月～金曜日 午前8時30分～ 午後5時15分	ボランティア保険の加入や、 社会福祉支援活動等に関する 相談のある方
介護相談	月～金曜日 午前8時30分～ 午後5時15分	介護に関する相談 のある方
生活資金・ 地域福祉権利 擁護相談	月～金曜日 午前8時30分～ 午後5時15分	生活資金や日常金銭 管理に心配のある方



●相談は無料・秘密は厳守いたします
●法律相談は、事前予約が必要です

場所・問い合わせ先

野木町社会福祉協議会
(野木町老人センター内)
電話 57-3100
FAX 57-3101

サークル 紹介

ホープ館で活動されている
サークルをここで
紹介いたします。

『野木町フォークダンスクラブ(NFC)』

当クラブは、ホープ館において活動しております。
安生忠男先生のご指導の下、みな年齢を忘れて、10歳
若返って踊っています。今年30周年を迎えるという伝
統あるサークルです。興味のある方は、是非一度、見
学にいってください。

練習日 毎週金曜日 午後1時30分～
場 所 ホープ館
対 象 野木町在住60歳以上の方です



※ホープ館を利用されている団体で掲載を希望される
団体は事務局にお問い合わせください

野木町社会福祉協議会
☎ 57-3100

善意の寄付

《4月》(1日～)

・渡邊会計事務所 様 50,000円
・佐々木 耕亮 様 ハガキ70枚
・匿名 様 82円切手16枚・ハガキ17枚
・匿名 様 50,000円

《5月》

・栃木県退職公務員連盟 様 タオル120本
・野木町身体障害者福祉会 様 936円

ありがとうございました



社会福祉法人
野木町社会福祉協議会

〒329-0101

栃木県下都賀郡野木町大字友沼5840-7(ホープ館)

TEL. (0280) 57-3100 FAX. (0280) 57-3101

●企画・編集／野木町社会福祉協議会

平成28年6月23日発行



ボランティアサマースクール & 小学生チャレンジスクール ～友だちとふくしを楽しく学ぼう!!～

参加者募集

ボランティアサマースクール

日 時 平成 28 年 7 月 25 日(月) ～ 7 月 29 日(金)
午前 9 時～午後 4 時
対象者 中学・高校・大学・専門学校生等
(全日程参加できる方)
募集人数 15 名(定員になり次第締め切らせていただきます)
参加費 1,000 円(昼食代含む)(※スクール初日に徴収します)
申込方法 電話、もしくは直接野木町社会福祉協議会
(ホープ館)までお申込みください。

1 日目 7 月 25 日(月)	オリエン テーション	ハンディキャップ 体験	昼食	福祉講座 手話・点字・朗読
2 日目 3 日目 7 月 26 日(火) 7 月 27 日(水) 7 月 28 日(木)	施設交流活動(3 日間の内 2 日間) ・新橋児童館(児童) ・特別養護老人ホーム 虹の舎(高齢者) ・社会福祉法人 バステル(障がい者) ・サービス利用者宅(ホームヘルプ体験)			
4 日目 7 月 29 日(金)	世代間交流活動 竹細工づくり& 流しそうめんとバーベキュー			閉講式

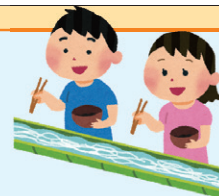
小学生チャレンジスクール

日 時 平成 28 年 7 月 26 日(火) ～ 7 月 29 日(金)
午前 9 時～午後 4 時
対象者 町内在住の小学 3 年～ 6 年生(全日程参加できる方)
募集人数 30 名(定員を超えた場合は前年度参加されていない
方を優先とさせていただきます、抽選といたします。)
参加費 1,000 円(昼食代含む)(※スクール初日に徴収します)
申込方法 窓口のみの受付となります。
直接野木町社会福祉協議会(ホープ館)までお申込みください。

1 日目 7 月 26 日(火)	オリエン テーション	盲導犬に についての話	昼食	ハンディキャップ 体験
2 日目 7 月 27 日(水)	福祉講座 手話・点字・朗読		昼食	地球温暖化防止体験 「エコってな～んだ!?!」
3 日目 7 月 28 日(木)	救急法講習会 救急手当について		昼食	車いす バスケットボール体験
4 日目 7 月 29 日(金)	世代間交流活動 竹細工づくり& 流しそうめんとバーベキュー			

申込期間 7 月 1 日(金) ～ 7 月 8 日(金)(土・日を除く)

問合せ先 野木町社会福祉協議会 ☎57-3100 まで



「男の料理教室」参加者募集



～食材の持ち味を活用! Let's 健康!!～

みなさん、食材の栄養・旨み等の持ち味を知っていますか?
からだに良い、バランスのとれた食事を作るためには、食材の
“持ち味”を生かすことが秘訣となります。ぜひ、一緒に体験しませんか?

日 時 平成 28 年 9 月 9 日(金) 午前 10 時～ 12 時
(9:50 集合)
場 所 野木町公民館 1 階 幼児室
対象者 野木町在住 65 歳以上の男性で、料理に興味のある方
(普段、料理をしない方でも)
持ち物 筆記用具、エプロン、三角巾、タオル
定 員 20 人(定員になり次第締め切らせていただきます)
講 師 野木町健康福祉課 管理栄養士
内 容 栄養バランスのいい食事について学ぼう!
ごはんの味比べ など
申込受付 7 月 11 日(月)～

野木町地域包括支援センター
☎57-2400 までお申込みください

地域包括支援センター介護支援専門員 (産休代替嘱託職員)の募集のお知らせ

募集人数: 1 名
業務内容: 介護予防プランの作成及び相談業務
勤務時間: 午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分
基本給: 月給 200,000 円
学 歴: 高卒以上
資 格: 介護支援専門員
普通自動車運転免許(AT限定可)
雇用期間:
平成 28 年 8 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

詳しくは下記へお問い合わせください

野木町社会福祉協議会
☎ 0280-57-3100